

対象コミュニティ用防災能力評価シート

国名 : _____

コミュニティ名 : _____

1. コミュニティの防災組織が存在する。

達成度 100% 達成度 50%以上 100%未満 達成度 50%未満 開始していない (その理由を示すこと) 追加コメント : _____

2. 基本的なコミュニティのリスク診断結果が存在する (ハザード、資源、キャパシティのマップ)。

達成度 100% 達成度 50%以上 100%未満 達成度 50%未満 開始していない (その理由を示すこと) 追加コメント : _____

3. コミュニティのリスク診断結果 (ハザード、資源、キャパシティのマップ) が住民に周知されている (各戸配布されている、公共スペースに掲示されている等)。

達成度 100% 達成度 50%以上 100%未満 達成度 50%未満 開始していない (その理由を示すこと) 追加コメント : _____

4. コミュニティの防災計画 (事前対策・緊急対応の役割分担を規定したもの) が存在する。

達成度 100% 達成度 50%以上 100%未満 達成度 50%未満 開始していない (その理由を示すこと) 追加コメント : _____

添付 2

5. コミュニティの防災計画が住民に周知されている（各戸配布されている、公共スペースに掲示されている等）。

達成度 100%

達成度 50%以上 100%未満

達成度 50%未満

開始していない（その理由を示すこと）

追加コメント : _____

6. ハザードのモニタリングを行っている（例：地震、津波の場合は、ラジオ・無線等による情報収集を行っていること）。

達成度 100%

達成度 50%以上 100%未満

達成度 50%未満

開始していない（その理由を示すこと）

追加コメント : _____

7. 災害情報・予警報をコミュニティ内の住民間で共有する手段・体制が存在する。

達成度 100%

達成度 50%以上 100%未満

達成度 50%未満

開始していない（その理由を示すこと）

追加コメント : _____

8. コミュニティの避難場所（避難専用の施設でなくても良い）がある。

達成度 100%

達成度 50%以上 100%未満

達成度 50%未満

開始していない（その理由を示すこと）

追加コメント : _____

9. コミュニティの災害早期警報システムが稼動している、または構築している。

達成度 100%

達成度 50%以上 100%未満

達成度 50%未満

開始していない（その理由を示すこと）

追加コメント : _____

1 0. 避難訓練が年に 1 回以上実施されている。

目標値以上の活動を実施

目標値に到達せず

追加コメント : _____

1 1. 防災関連の会合が年に 1 回以上開催されている。

目標値以上の活動を実施

目標値に到達せず

追加コメント : _____

対象自治体用防災能力評価シート

国名 : _____

コミュニティ名 : _____

1. 自治体の防災組織が存在する。

達成度 100% 達成度 50%以上 100%未満 達成度 50%未満 開始していない（その理由を示すこと） 追加コメント : _____

2. 自治体のリスク診断結果が存在する（ハザード、資源、キャパシティのマップ）。

達成度 100% 達成度 50%以上 100%未満 達成度 50%未満 開始していない（その理由を示すこと） 追加コメント : _____

3. 自治体の防災計画がある。

達成度 100% 達成度 50%以上 100%未満 達成度 50%未満 開始していない（その理由を示すこと） 追加コメント : _____

4. 防災関連情報（災害リスクに関する情報、予警報）を能動的に収集している。

達成度 100% 達成度 50%以上 100%未満 達成度 50%未満 開始していない（その理由を示すこと） 追加コメント : _____

5. 防災に関する活動・イベントを定期的に実施している学校が自治体内に存在する。

達成度 100%

達成度 50%以上 100%未満

達成度 50%未満

開始していない（その理由を示すこと）

追加コメント : _____

6. 防災関連活動を実施するための資源（予算、人員、資機材等）がある。

達成度 100%

達成度 50%以上 100%未満

達成度 50%未満

開始していない（その理由を示すこと）

追加コメント : _____

7. 自治体レベルで防災の視点を自治体の計画に組み込む手段がある。

目標以上

目標に達せず

追加コメント : _____

8. 災害関連情報を国の機関、及び管区内のコミュニティに伝達する手段が存在する。

目標以上

目標に達せず

追加コメント : _____

9. 同時に別の職務も果たすことができる防災担当者が自治体で任命されている（帰国研修員の場合はその旨明記のこと）。

専任または兼任の防災担当者がいる

防災担当者は任命されていない

追加コメント : _____

10. 防災シミュレーション訓練を年に1回以上実施している。

目標値以上の活動を実施

目標値に到達せず

追加コメント : _____

中米各国・地域の防災推進体制評価シート

国名 : _____

組織名 : _____

1. 防災の優良事例データベースがインターネット、印刷資料を通じて公開され、市民がアクセスできる。

達成度 100% 達成度 50%以上 100%未満 達成度 50%未満 開始していない（その理由を示すこと） 追加コメント : _____

2. 防災関連のツールが作成、複製、管理され、中米各国が閲覧、複製できるようになっている。

達成度 100% 達成度 50%以上 100%未満 達成度 50%未満 開始していない（その理由を示すこと） 追加コメント : _____

3. 開発された手法・ツールが中米域内で共有・普及される体制が構築されている。

達成度 100% 達成度 50%以上 100%未満 達成度 50%未満 開始していない（その理由を示すこと） 追加コメント : _____

4. 災害情報の収集、伝播、伝達に関し、各国の国家防災機関と科学技術研究機関が協力する体制が確立されている。

達成度 100% 達成度 50%以上 100%未満 達成度 50%未満 開始していない（その理由を示すこと） 追加コメント : _____

5. 日本で研修を受けた人員が国または中米地域の機関で保持されている。

達成度 100%

達成度 50%以上 100%未満

達成度 50%未満

開始していない（その理由を示すこと）

追加コメント : _____

6. 防災の推進に役立つ適正技術（簡易雨量計・河川水位計作製技術、低成本防災インフラ建設技術等）を中米域内で共有・普及するための場所がある。

目標以上

目標に達せず

追加コメント : _____

添付資料 10：プロジェクト成果表 1（指標に応じた実績）

指標	中間評価時点での達成状況（2010 年 2～3 月）	終了時評価時点での達成状況（2012 年 1～2 月）
【上位目標】 コミュニケーション防災にかかる情報、経験、手法等が、中米域内の異なる地域間で共有され、活用される。	中米域内のコミュニケーション及び自治体における、本プロジェクトの成果を活用した防災への取組み事例認証されている。具体的には以下のとおり。 ・パナマ：カピラ郡のプロジェクト対象外の3つのコミュニティで、プロジェクトで紹介された早期警戒用の簡易雨量計を自発的に導入し使用している。 ・エルサルバドル：2009 年 11 月のハリケーン Ida の被害後、プロジェクト対象外の市からプロジェクトに報告照会や協力要請を受けたが、プロジェクトへの参加を認識して、レオン市がコミュニケーションの重要性を認識し、全ての無線機を修理し使用できるよう予算を付けた。	これまでの取組事例について幾つかを挙げると、以下のものがある。 ・エルサルバドル・リベラタ県ラバス県では、雨量観測が対象コミュニケーションでも NCG の支持を得て広がっている。 ・エルサルバドル防災局は全国 10 ケ所の雨量観測地点を追加した（2011 年） ・エルサルバドルのサンベドロ・マサワット市では、自然災害の際に防災計画が迅速・適切・効果的に実行されている。 ・ホンジュラス・テグジガルバ市は、警報サイレンを 156 のコミュニケーションを設置する予定である。 ・ホンジュラス・マルコビア市は、35 のコミュニケーションに BOSAI 活動を 2012 年以降開催する予定である。 ・カエルキヤラバンはグアテマラ、エルサルバドルにおいて対象コミュニケーションを超えて広がっている。パナマでも、教育省との連携で全国レベル展開が検討されている。 ・古タイヤ利用の壁工事について、国際 NGO (Geologos de Mundo) がサンサルバドル周辺自治体技術者を対象に研修会をプロジェクトとともに実施予定（2012 年 3 月）。 ・ニカラグアでは、津波メカニズムに関する研修教材が判りやすく編集し直され、他のコミュニケーションに対する津波の啓発に使われた。 ・ゲアテマラ CONRED はプロジェクト活動の一環として、対象コミュニケーションに対する 20 の無線ステーション設置を進めた。 ・パナマのラス・フルダレス地区（パナマ・ウエスト市）とカスカージヨス地区（ペラガス市）に無線ステーションが設置され、その使用方法の研修が実施された。
【プロジェクト目標】 対象コミュニケーション及び対象自治体の防災能力が向上するとともに、各国防災関連機関、及び CEPREDENAC 調整事務局のコミュニケーション防災を推進する能力が強化される。	1. 対象コミュニケーションの自然災害に対する脆弱性の減少（目標値：全対象コミュニケーションが 5 ポイント以上を達成することから、プロジェクト実施期間中に目標値である 80% に到達することは可能であると考えられる。） 2. 対象自治体の災害管理能力の向上（目標値：全対象自治体のうち、80% の自治体が、別紙 1 の評価シートによる評価で 6 ポイント以上を達成） 3. 各国防災関連機関及び CEPREDENAC 調整事務局のコミュニケーション防災に関する知識とオーナーシップの向上（目標値：別紙 3 の評価シートによる評価で 4 ポイント以上を達成）	中間レビュー時点で目標の 6 ポイント* を達成しているのは、調査対象 48 コミュニティ（40%）である。しかしながら、32 コミュニティ（67%）が 5 ポイント以上を達成していることから、プロジェクト実施期間中に目標値である 80% に到達することは可能であると考えられる。 中間レビュー時点では 15 市（83%）が 6 ポイント以上を達成している。従って達成見込みは高いと考えられる。 対象自治体の災害管理能力のうち、80% の自治体が、別紙 2 の評価シートによる評価で 6 ポイント以上を達成。 対象国防災機関と CEPREDENAC 調整事務局のうち、CONRED のみが 4 ポイントに達している他、3 つの機関が 3 ポイント以上となっている。
		部分的に達成（目標 80%）に対して達成度 68%、詳細は Annex 13 参照） ・全対象 62 コミュニティのうち、2011 年 10～11 月の訪問調査では 50 コミュニティが訪問され、データが集められた。 ・訪問 50 コミュニティのうち、6 ポイント以上を達成しているコミュニケーションは 34 コミュニティであった。よって実績は $34/62 = 55\%$ ・データが集められた 50 コミュニティに対しての達成度は、 $34/50 = 68\%$ である。 達成（目標 80%）に対して達成度 90%、詳細は Annex 13 参照） ・全対象 23 市のうち、2011 年 10～11 月の訪問調査では 21 市が訪問され、データが集められた。 ・訪問 21 市のうち、6 ポイント以上を達成している市は 19 市であった。したがって実績は $19/23 = 83\%$ ・データが集められた 21 市に対しての達成度は、 $19/21 = 90\%$ である。 部分的に達成（目標 7 機関）に対して達成 4 機関、詳細は Annex 13 参照） ・全対象 7 機関のうち、2011 年 10～11 月の訪問調査では 7 機関全てが訪問され、データが集められた。 ・訪問 7 機関のうち、4 ポイント以上を達成している機関は 4 機関（3 機関および GEPREDENAC）であった。

添付10

【アウトプット】	
1. 住民、住民組織及び自治体の協働により、対象コミュニティにおける防災体制が強化される。	<p>1.1 全対象コミュニティの 90%以上で防災組織が存在する。 調査対象コミュニティのうち98%に防災組織が設立されおり、成果指標に到達している。</p> <p>1.2 全対象コミュニティの 90%以上で災害リスクマップが作成されている。 中間レピュー時点でリスクマップを備えているコミュニティは調査対象の65%に留まるが、作成途中のコミュニティもあり、プロジェクト期間中に成果指標に到達することが見込まれる。</p> <p>1.3 全対象コミュニティの 90%以上で災害警報の伝達システムが整備されている。 調査対象コミュニティのうち79%のコミュニティが早期警戒システムを取り組んでいるが、構築が完了したコミュニティは1箇所のみである。但し、94%のコミュニティが何らかの形で災害情報をコミュニケーション内で伝達する手段を既に持っている</p>
2. 対象コミュニティにおける防災知識が向上する。	<p>1.4 全対象コミュニティの 90%以上で、コミュニティの防災計画が作成されている。 調査対象コミュニティのうち54%のコミュニティが既に防災計画を有している他、作成途中のものが16 コミュニティあり、これらが完成すると88%に達する</p> <p>2.1 防災マニュアル／ガイドラインが 10 種類以上整備される（既存資料のスペイン語版作成も含む）。</p> <p>2.2 防災ワークショップ、セミナー等の防災関連イベントが年1回以上開催されているのは、調査対象コミュニティのうち12.5%に過ぎず、成果指標の「年3回」を満していない。</p> <p>2.3 学校で防災に関する活動が年1回以上開催される。</p> <p>中間レピュー時点までに7種類の防災教育・防災意識向上のための資料が作成済みである。</p>

- ・達成（目標 90%に対して達成度 96%）
 - ・全対象 62 コミュニティのうち、防災組織が設立（42 コミュニティ）またはその取組が行われている（6 コミュニティ）を合わせた割合は、48/62=78%
 - ・データが集められた 50 コミュニティに対する割成度は、48/50=96% である。
- ・部分的に達成（目標 90%に対して達成度 88%）
 - ・全対象 62 コミュニティのうち、リスクマップが作成（35 コミュニティ）またはその取組が行われている（9 コミュニティ）を合わせた割合は、44/62=71%
 - ・データが集められた 50 コミュニティに対する割成度は、44/50=88% である。
- ・ただし、リスクマップが住民に何らかの方法で周知されている（5 コミュニティ）またはその取組が行われている（28 コミュニティ）を合わせた割合は、33/62=53%
 - ・データが集められた 50 コミュニティに対する割成度は、33/50=66% である。
- ・部分的に達成（目標 90%に対して達成度 66%）
 - ・全対象 62 コミュニティのうち、早期警戒システムが整備（14 コミュニティ）またはその取組が行われている（19 コミュニティ）を合わせた割合は、33/62=54%
 - ・データが集められた 50 コミュニティに対する割成度は、33/50=66% である。
- ・しかし、災害情報・予警報をコミュニティ間の住民間で共有する手段・体制が存在する（29 コミュニティ）またはその取組が行われている（20 コミュニティ）を合わせた割合は、49/62=79% に達している。
 - ・データが集められた 50 コミュニティに対する割合は、49/50=98% である。
- ・部分的に達成（目標 90%に対して達成度 88%）
 - ・全対象 62 コミュニティのうち、防災計画が作成（28 コミュニティ）またはその取組が行われている（16 コミュニティ）を合わせた割合は、44/62=71%
 - ・データが集められた 50 コミュニティに対する割成度は、44/50=88% である。
- ・ただし、防災計画が住民に何らかの方法で周知（12 コミュニティ）またはその取組が行われている（22 コミュニティ）を合わせた割合は、34/62=55% に留まっている。
 - ・データが集められた 50 コミュニティに対する割合は、34/50=98% である。
- ・達成（目標 10 種類に対して実績 19 種類）
 - ・Annex15 のとおり、(1)において 12 マニュアル／ガイドラン、(2)において 7 マニュアル／ガイドラン、合計 19 種類がコミュニケーション活動に向けて作成された。
 - ・リスト No. 2-3 および No. 2-4 については、今後文書化の予定である。
- ・データ未入手
 - ・年 3 回以上開催されたかどうかのデータはないものの、年 1 回以上防災関連の会合が開催（16 コミュニティ）またはその取組が行われている（18 コミュニティ）を合わせた割合は、33/62=55% に達している。
 - ・データが集められた 50 コミュニティに対する割合は、33/50=66% である。
- ・部分的に達成（訪問された学校のうち、71%の学校で活動が開催されている）
 - ・2011 年 10~11 月の訪問調査では、21 市及び 50 コミュニティのほか、コスタリカ 2 校（Pacifico, Moctezuma）、エルサルバドル 5 校（Salvador Medieta, Las Dispensas,

		<p>Pedro Pablo Castillo, Hacienda Astoria, Amatecampo) の、計 7 学校が訪問された。</p> <ul style="list-style-type: none"> 訪問 7 校のうち、活動の開催（2 校）またはその取組が行われている（3 校）を含む割合は、5/7=71% である。 <ul style="list-style-type: none"> ただし訪問 21 市に対する調査では、教育カリキュラム・年間行事に防災教育・訓練を取り入れている学校が自治体内に存在する（9 市）またはその取組が行われておる（11 市）との回答結果。したがって 20/23=87% の対象市で、学校で防災に関する活動が行われている。
2.4 各対象コミュニティで避難訓練を行っているコ ミュニティはなかつたが、21%が「これまで一度実施した」 あるいは「現在実施に向けて準備中」である		<p>調査対象コミュニティの中で毎年避難訓練を行っているコミュニティはなかつたが、「これまで一度実施した」データが集められた 50 コミュニティに対する割合は、30/50=60% である。</p> <ul style="list-style-type: none"> なお、避難場所が存在している（25 コミュニティ）またはその取組が行われている（20 コミュニティ）を合わせた割合は、45/62=73% に達している。 データが集められた 50 コミュニティに対する割合では、45/50=90% のコミュニティで避難場所が設定されている。
3.1 対象自治体の帰国研修員は、 自治体の計画に防災を関連づ けるために、年間 3 件以上の 活動を実施する。		<p>この成績指標の達成度を測るデータは得られなかつたが、JICA 専門家、カウンターパートその他の関係者に対するインタビューにより、ほとんどの帰国研修員は防災の普及に積極的に関与していることが認められた。</p> <p>例えば、カニャス市（コスタリカ）に勤務する帰国研修員は、DIG ワークショップ、古タイヤ堤防の建設、住民参加による洪水被害調査などに関する手法を市内のコミュニティに普及する活動を手掛けている。これには JICA 専門家や青年海外協力隊員などの協力を得ている。</p>
3. 防災の目標、施策、 具体的活動などが 対象自治体の計画に 含まれるように なる。		<p>3.2 対象自治体の 60% 以上で、防 災の目標、施策、具体的活動 が含まれる。</p> <p>調査した対象市の 60% において、市の計画の中に防災対策を取りこむ仕組みを有しており、この成果指標に既に到達していると考えられる。防災目標、ツール、活動が実際に市の計画に組み入れられているかどうか、更に確認する必要がある。</p> <p>中間レビュー時点において種類が作成済み。更に作成中の 2 種類が完成するとこの成果は達成される。</p>
4. 中米各国における防災開連 機関および CEPREDENAC 調整 事務局において、 コミュニティ防 災を推進する能 力が強化される。	<p>4.1 コミュニティ防災に役立つ手 法、ツール、技術が中米地域 で 6 種類以上体系化、現地適 応化される（既存の手法、ツ ール、技術の現地適応化も含 む）。</p> <p>4.2 コミュニティ防災に役立つ手 法、ツール、技術の利用に関 する W/S が年 1 回以上開催さ れる。</p>	<p>4. 中米各国において、この成果は既に達成されている。</p> <p>これまでに 5 回の W/S が開催されており、この成果は既に達成されている。</p> <p>達成（中間評価以降も、年 1 回以上 W/S が開催されている）</p> <ul style="list-style-type: none"> SAT 優良手法に関する研修会（2010 年 11 月 @ パナマ SINAPROC 中米防災アカデミー） カエルキラバン経験交流会（2010 年 12 月 @ サンサンルバドル） 中米 BOSAI 自治体フォーラム（2011 年 3 月 @ ニカラグア・レオン市） テグシガルバ市 COPECO 職員に対する DIG 研修会（2011 年 9 月） ホンジュラス COPECO 職員向け SAT 研修会（2012 年 1 月 @ チョルテカ市）

添付 10

	4.3 コミュニティ防災推進に役立つ手法、ツール、技術に関する、中米地域共有のデータベース、及び保管スペースが確立される。	CEPREDENAC調整事務局において、台湾の援助によるデータベース構築が予定されている。 電子媒体以外の資料・教材等の管理・閲覧のスペースは、CEPREDENAC調整事務局内に設置することを検討している。	部分的に達成 ・防災プロジェクトとしてのポータルサイトを、2012年3月中の公開を目指す中である。
	4.4 プロジェクトの年間活動計画が、各国及び中米地域レベルで作成される。	国レベル及び地域レベルとも、2009年度年間活動計画が作成済み。現在2010年度計画を作成中である。	達成 ・2010年、2011年、2012年のP0については、日本の会計年度当初には作成された。 ・2011年3月のJCCにて、P0の2011～2012年が確定された。
	5. コミュニティ防災に係る情報収集、手法を普及する体制が構築される。	5.1 国レベルの帰国情研修員会議は、パナマで1回行われた以外は国レベルの帰国情研修員会議は、パナマを除いては実施されていない。 5.2 中米地域レベルの防災分野帰国情研修員ネットワークの年次会合が開催される。	部分的に達成 ・国レベルでの帰国情研修員の会合は、パナマを除いては実施されていない。 ・ただし、プロジェクトの主要関係者は帰国情研修員のニシシアチブにより防災をテーマとしたTV会議が中米全域のJICA事務所を繋いで開催されている。
	5.3 情報交換のための帰国情研修員データベースが構築される。	本邦研修「中米防災対策」の渡航前に実施される事前研修の機会に、毎年帰国情研修員会合を開催している。	部分的に達成 ・ただし、事前研修の機会に、エルサルバドルの帰国情研修員のニシシアチブにより防災をテーマとしたTV会議が中米全域のJICA事務所を繋いで開催された。
	5.4 コミュニティ防災に関する知識や教訓の交換・共有を目的とした中米地域防災会議(フィールド視察付)が、プロジェクト期間中に3回以上開催される。	各国情研修員データベースはまだ構築されていない。 2010年に第1回地域防災フォーラムが開催された。以降毎年1回(プロジェクト実施期間中計3回)開催される予定である	部分的に達成 ・帰国情研修員データベースは、CEPREDENAC事務局により作成されている。(ただし、データの更新は各国情防災機関、帰国情研修員同窓会、JICA事務所等の協力が必要)
	5.5 コミュニティ防災の優良事例をまとめたパンフレットが作成され、プロジェクト対象コミュニティ及びその他のコミュニティで配布される。	この成果はプロジェクトの残り期間で達成される見込みである。	部分的に達成 ・優良事例パンフレットは作成中である
	5.6 プロジェクトの成果報告するための合同調整委員会が年1回開催される。	JCC会議は毎年開催されている。	達成 ・第3回 JCC (2010年3月@エルサルバドル) ・第4回 JCC (2011年3月@メキシコ・チアパス州) ・第5回 JCC (2012年2月@コスタリカ・リベリア市) 開催予定
	5.7 プロジェクトの経験を対象各國間で交換する活動が年1回以上開催される。	JCC会議が対象国間の経験交換の機会を提供している。この他に、DIGや早期警戒システムに関する技術W/Sや地域防災フォーラムも経験交換の機会となっている。	達成 (中間評価では、次の会議等が経験交流の機会となつた) ・JCC会議 (2010年3月、2011年3月) ・自治体防災担当者向け中米地域W/S (2010年2月、2011年3月) ・カエルキャラバン地域ワーキングショップ (2011年5月) ・SAT 優良手法に関する研修会 (2010年11月)
	5.8 CEPREDENACにプロジェクトの情報報告、報告、移転する体制が存在する。	CEPREDENACは加盟国の防災担当機関の長が集まる理事会会合を定期的に開催しており、プロジェクトに関する情報はその場で逐次報告・伝達されている。CEPREDENACはメンバー間に連絡担当を置いており、プロジェクト実施に關係するやり取りや調整を可能にしている。	達成 ・体制としては、CEPREDENAC理事会、プロジェクトJCC、CEPREDENACが主催する地域会合、CEPREDENACのホームページなどを通しての、情報・交流・伝達する体制となっている。

添付資料 11：事前調査における訪問自治体・訪問コミュニティ

添付 11

国	市(市役所)	中間レビュー		終了時評価		プロジェクト開発のコミュニティ・学校	対象	訪問日	中間レビュー	対象	訪問日	終了時評価	備考
		対象	訪問日	対象	訪問日								
Costa Rica	Guanacaste, CME Liberia	○	2009/12/14										周辺市(市レベル)の防災担当の地域研修への参加のみでプロジェクトに関与。ただし市への直接のプロジェクトからの投入実績はない)なので、終了時評価では、対象市としては除外。
	Guanacaste CME Cañas	○	2009/12/15	○	2011/11/05	El Hotel Bebedero	○	2009/12/15	○	2011/11/05	2011/11/05	終了時評価	周辺コミュニティ(コミュニケーション会議)への参加のみでプロジェクトに関与。ただしコミュニティでの直接のプロジェクトからの投入実績はない)
	Guanacaste, Tilarán					Santa Isabel Arriba Santa Isabel Abajo	○	2009/12/15	○	2011/11/05	2011/11/05	終了時評価	SAT(コミュニケーション会議)としての活動はないが、早期警報システムを作動するにあたって、警戒発信となる地点)
	Guanacaste CME Santa Cruz	○	2011/11/07	Brasilito Tamarindo		Libano	○	2009/12/15	○	2011/11/06	2011/11/06	周辺コミュニティ	
	Guanacaste, CME Carrillo	○	2011/11/07	(C.E. Pacífica)					○	2011/11/06			
	Guanacaste, CME Nicoya	○	2011/11/07	Barrio (Santa Lucia) Centro Barrio (Cananga) Barrio (Virginia)					(2011/11/07)	2011/11/07	2011/11/07	周辺コミュニティとしての扱い先)、周辺コミュニティとしての扱い	
	Puntarenas CME Cóbano	○	2009/12/16	○	2011/11/08	(C.E. Moctezuma) Montesuma Santa Teresa	○	(2009/12/16)	○	2011/11/07	2011/11/07	市街地コミュニティ(Barrío)は、中間評価以降に活動が活発化してきた。中間評価時には対象コミュニティとして認識されていなかった。	
	El Salvador	6	3	4	4				6	6	7	7	ユニティとして認識されていなかった。
	Libertad, Alcaldía, San José Villa Nueva	○	2009/12/18	○	2011/11/11	Santa María I (C.E. Salvador Medella)	○	2009/12/19	○	2011/11/11	2011/11/11	学校	防災委員会が崩壊した
						Fontaleza Cantón Matazano Dispensas Centro (C.E. "Las Dispensas")							
	Libertad, Alcaldía, Nueva Cuscatlán	○	2009/12/18	○	2011/11/14	Zamora Rivas Santa María Altos de Nuevo Cuscatlán 7 de Marzo (C.E. Pedro Pablo Castillo)	○	2009/12/18	○	2011/11/14	2011/11/14	学校	
	Libertad, Alcaldía, Zaragoza	○	2009/12/18	○	2011/12/06	El Corralito Guadalupe Santa Teresa	○	2009/12/??	○	2011/12/06	2011/12/06	学校	終了時評価で訪問(2/2、住民・市役所・開発業者の協議による排水溝工事)
	La Paz, Alcaldía, San	○	2010/01/14	○	2011/12/07	Las Hojas (C.E. en Hacienda Astoria)	○	2010/01/14	○	2011/12/07	2011/12/07	学校	活動実績なし

添付 11

	Pedro Mazahuat				Milagro de Dios	O	訪問せず	活動実績なし
					Miraflores	O	訪問せず	活動実績なし
					El Cabral	O	訪問せず	活動実績なし
La Paz, Alcaldía, San Luis Talpa	O	2010/01/14	O	2011/12/08	San Marcos Jiboa	O	2011/12/08	活動は学校に対してのみ行われている
					La Fortuna	O	訪問せず	活動実績なし
					El Lagartero	O	訪問せず	活動実績なし
					Amatecampo	O	(2011/12/08)	評価事前調査では学校を訪問した
Guatemala	Escuintla, COMURED, Escuintla	O	2009/12/11	O	訪問せず (市が機能 していな い)	Ceylán	5	5
						Chuchú	5	17
						Don Pancho	5	9
						Guadalupe El Zapote	5	9
						La Reina	5	9
						La Rochela	5	9
						San Miguel Los Lotes	5	9
						San Andres Osuna	5	9
						Santa Marta	5	9
						Trinidad	5	9
Escuintla, COMURED, Siquinalá	Chimaltenango, COMURED, San Pedro Yepocapa	O	2009/12/10	O	2011/12/02	Las Palmas	O	訪問せず
						Lucerna	O	CONRED が防災委員会を設立できなかつた
						Panímache I	O	治安上の問題のため訪問できなかつた
						Panímache II	O	訪問せず
						Morelia	O	訪問せず
						Sangre de Cristo	O	現地事情により訪問できなかつた
						& 26	O	訪問せず
						Santa Sofía	O	訪問せず
						& 27	O	訪問せず
						Yucales	O	訪問せず
Honduras	Sacatepéquez, COMURED, San Juan Aotenango	O	2009/12/11	O	2011/11/30	El Povenir	O	終了時評価で訪問(1/18、火山観測機関との連携)
						Panimache I	O	終了時評価で訪問(1/18、火山観測機関との連携)
						Panimache II	O	終了時評価で訪問(1/18、火山観測機関との連携)
						Morelia	O	終了時評価で訪問(1/18、火山観測機関との連携)
						Sangre de Cristo	O	終了時評価で訪問(1/18、火山観測機関との連携)
						& 26	O	終了時評価で訪問(1/18、火山観測機関との連携)
						Santa Sofía	O	終了時評価で訪問(1/18、火山観測機関との連携)
						& 27	O	終了時評価で訪問(1/18、火山観測機関との連携)
						Yucales	O	終了時評価で訪問(1/18、火山観測機関との連携)
						El Povenir	O	終了時評価で訪問(1/18、火山観測機関との連携)
Escuintla, COMURED, Santa Lucia Cotzumalguapa	Choluteca, CODEM Triunfo	O	2009/11/10	O	2011/11/y 24	4	20	19
						Matapalo Arriba	20	19
						Santa Teresa	20	19
						Santa Isabel	20	19
						San Rafael	20	19
						Guapinol	20	19
						Los Llanitos	20	19
						El Ocotillo	20	19
						Choluteca CODEM	20	19
						Triunfo	20	19
Honduras	Choluteca, CODEM Namásigue	O	2009/11/11	O	2011/11/01	Santa Isabel	O	2011/11/23 終了時で訪問(2/6、防災環境改善を通してのコミュニティとしてのまとめ)
						San Rafael	O	2011/11/23 終了時で訪問(2/6、防災環境改善を通してのコミュニティとしてのまとめ)
						Guapinol	O	2011/11/25 訪問したが面談できなかつた
						Los Llanitos	O	2011/11/25 面談なし
						El Ocotillo	O	2011/11/02

国	評価事前調査で訪問した市の数／対象市の数			評価事前調査で訪問したコミュニティの数／対象コミュニティの数		
	中間レビュー時	終了時評価時	4/4	中間レビュー時	6/6	終了時評価時
Costa Rica	3/6		5/5		5/5	7/7
El Salvador	5/5		5/5		5/5	9/17
Guatemala	5/5		4/5		19/20	17/20
Honduras	4/5		4/5		9/9	8/9
Nicaragua	1/1		1/1		3/3	3/3
Panama	2/3		3/3		6/6	6/6
計	20市訪問／25対象市	21市訪問／23対象市	48市訪問／49対象コミュニティ	48市訪問／49対象コミュニティ	50訪問／50対象コミュニティ	62訪問／62対象コミュニティ